

# 令和3年度 運輸安全マネジメント内部監査報告書

兵庫県尼崎市水堂町4丁目20番16号

イワサバス株式会社

内部監査員 中尾 靖

## 1. 内部監査実施対象

(1)本社営業所

(2)経営管理部門 経営トップ、安全統括管理者、運行管理者(営業所長・統括運行管理者)

## 2. 重点監査項目

(1)本社営業所

適切に運行管理が行われているか確認するとともに、輸送の安全に関する文書、記録等のほか運輸安全マネジメントに関するが確実に周知されているか監査する。

(2)経営管理部門

①経営トップ

経営トップが、輸送の安全の確保のため、関係法令の遵守、安全方針、安全重点施策の策定等に積極的に関与するなど、安全管理体制の構築、改善にリーダーシップを発揮しているか監査する。

②安全統括管理者

安全管理体制の課題や問題点を的確に把握する立場から、安全重点施策の進捗状況、事故等の発生状況、安全管理体制の改善の必要性等を経営トップに適宜、報告又は意見具申しているか監査する。

③運行管理者

現場の責任者として、運輸安全マネジメントの内容を乗務員に理解・実行させる努力を行っているか、また他の運行管理者・補助者への指導を行っているか監査する。

## 3. 内部監査結果

(1)本社営業所

①監査日 令和4年4月2日～3日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③監査方法 監査対象の関係書類・文書の確認

④総評

必要な帳票類は、営業所内に保管され、周知事項は掲示されていることが確認できた。

緊急時対応マニュアルが、事務職員及び各車両に配備されており、各社員の対応力の統一化を目指していることが確認された。

社員への研修も定期的を実施しており、ドライブレコーダー映像を用いた個別の指導を実施していることが確認された。

⑤是正勧告

・目標数値を掲げているが、運行管理者・乗務員とも途中経過が知らされておらず、年度中の目標に対する定期的な動機付けが実施されていることが確認できなかった。

→次年度は、定期的に周知を図るとともに目標を達成できていない場合には、乗務員の士気を下げないようにするよう勧告する。

・昨年に勧告した社員研修が実施されていなかった。

→雪道研修(コロナ禍で人数の調整ができなかったので今年度の再目標とする。)

(2)経営管理部門

①監査日 令和4年4月7日～9日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③被監査者 経営トップ(岩佐雅史社長)、安全統括管理者(岩佐雅央専務)  
統括運行管理者(田中英嗣)

④監査方法 アンケート回答に基づき、個別面談調査

⑤重点監査項目

経営トップ…安全管理体制の構築・改善にリーダーシップを発揮しているか

安全統括管理者…経営トップに適宜、報告又は意見等を具申しているか

統括運行管理者…運輸安全マネジメントを実施するために必要な措置を実践しているか

⑥総評

経営トップは、自らセミナーや研修会に積極的に参加し、関係法令の遵守や安全最優先の原則について会議、乗務員との面談により周知を図っている。

コロナ禍で朝礼ができないため自ら車庫内での乗務員とのコミュニケーションを図っている。

また、社員研修の実施を指示し、実践していることも評価できる。

トップ自ら、事故対策会議に参加しているため、事故の原因は基本的動作の徹底が欠如していると分析しており、その研修の重要性を今後トップダウンで指示していくべきである。

安全統括管理者は、経営トップとの連絡を密にし、特に重要と考えられるものは文書化し回覧する等の措置をとっている。

また、事故の一因として乗務員の目線(視点)も関係していると分析しており、経営トップとの連携を密にし、乗務員への周知徹底を図るべきである。

統括運行管理者は、事故対策会議で事故惹起者本人に積極的に意見を求め、「気づき」による自主的な事故防止を目指している。

⑦改善目標及び是正勧告

毎年同様であるが、PDCAサイクルの「C」を実践できる体制を構築するべきである。

経営トップ、安全統括管理者、統括運行管理者とも、C→Aサイクルが実践できていないことを

認識しており、特にヒヤリハット情報の収集結果が乗務員へフィードバックされていないことを懸念しており、今年度の重要課題と位置付けている。

次年度はまず、ヒヤリハット情報収集のPDCAサイクルを完成することを第1目標として提言する。




4. 総合的所見

常に安全対策構築に対する思いを強く持っておられることが確認できました。

毎年、改善目標にしているPDCAサイクルのC→Aの充実を課題にされており、さらに一步進めることが期待されます。

また、事故防止に関しても個別の事故の対策だけではなく、基本的動作や運転時の目線(視点)にも言及されており安全の認識を広い観点から分析されていることが確認できました。

気付かれた点を、より実践的な研修に取り入れ、さらなる安全の構築を先導されて行かれることを望みます。

承認	確認	確認	作成
令和4年 4月 21日	令和4年 4月 21日	令和4年 4月 21日	令和4年 4月 20日
経営トップ	安全統括管理者	統括運行管理者	内部監査官
岩佐 雅史 	岩佐 雅央 	田中英嗣 	中尾 靖 